

実践的な災害時合同訓練の実施（今治市）

【取組概要】

今後、想定される大規模災害に備え、地震による建物の倒壊現場を想定し、校舎移転に伴い解体中であった小学校の旧校舎を利用した災害時訓練を行った。

実施にあたっては、自衛隊との協力体制の強化等をねらいとして、訓練への参加を要請し、消防機関、自衛隊及び小学校との合同訓練の形で実施した。

人口 165,286人

担当部署 総務部防災危機管理課
事業実施期間 26年10月
取組事例のURL



今治市立乃万小学校での訓練

【取組のポイント(特徴・先進性・特色など)】 【今後の構想や、他団体との連携の可能性】

＜解体の機会を捉えた訓練の実施＞

・解体中の校舎という場所を活かし、災害時に近い状況で訓練を行うことができた。

＜合同訓練による連携の強化＞

・消防機関と自衛隊の連携強化に繋がったほか、小学生に関しては災害時の状況について、より具体的なイメージを持ってもらうことができ、防災に対する意識啓発に繋がったものと思われる。

・今後、各市町で公の施設(学校など)の解体時を捉えて同様の訓練を実施する際には、解体工事の工期の調整や作業の一時中断等、解体管理を行う部署の協力が必要となるため、市内での連携が不可欠。

【参加者数】 125人

(内訳) 消防:30人

自衛隊:20人

小学生(6年児童):75人



今治市立乃万小学校での訓練